

# 行政改革 緊急3カ年実施計画を策定

## 3カ年で282億円の見直し

問い合わせ 企画財政部総務課 ☎38-2009



群生する大輪のヒマワリ (呉川町)

本市では、震災復興のため短期間に膨大な事業費が必要になっており、震災による市税収入の大幅な落ち込みによって、空前の規模の財源不足が見込まれています。さらに今年度は戦後初めて普通交付税の交付団体に落ち込み、かつての富裕な市ではなくなりました。本実施計画は、このような厳しい財政状況を克服するため、震災復旧復興事業の促進とその財源等の確保を目的として、四月に策定しました「芦屋市行政改革大綱」に基づき、具体的事業項目をあげた計画としています。

実施項目については、「事務事業の見直し」、「財政の効率的運営」、「組織・要員等の見直し」を柱とし、百十二項目をあげ、期間は平成八年度から平成十年度までの三カ年計画です。

行政改革による収支見直し額としては、三カ年で二百八十二億二千六百万円の計画をしています。実施計画の概要をお知らせします。

### 事務事業の見直し

- ・市民等を顕彰する各賞の授賞対象範囲や副賞を見直す
- ・特別職の公用車を減車する
- ・市税前納報奨金の交付率を見直す
- ・職員貸与服の期間等を見直す
- ・芦屋浜サービスコナーは、平成九年度から、当分の間、閉鎖する
- ・敬老祝い金を見直す
- ・「三大まつり」に対する補助金を削減する
- ・路面清掃業務の作業回数を減らす
- ・公園、街路樹剪定業務の回数を減らす
- ・審議会から答申を得て、学校の統廃合と校区の見直しをする
- ・市立高校の生徒定員と教員定数を見直す
- ・経常経費のうち物件費(旅費、交際費、需用費、役員費、備品購入費等)を平成八年度二〇%、平成九年度、十年度各一〇%削減する
- ・工事費等の投資的経費の削減や財源等を見直す
- ・公園墓地の維持管理業務、薬剤散布業務、下水処理場

### 財政の効率的運営

- ・管理業務等の委託化を検討する
- ・市民センター、体育館の管理業務を文化振興財団に委託する
- ・芦屋ハートフル福祉公社、文化振興財団、社会福祉協議会などの外郭団体に対する委託事業の見直しと経費の抑制を図る
- ・病院事業について、専門機関による経営診断や給食業務の委託化を検討するとともに患者サービスの向上に努める
- ・水道事業については、水道事業経営審議会を設置し、答申を得て、「経営健全化計画」を策定し、水道料金を改定する
- ・市税や国民健康保険料等の滞納金について、プロジェクトチームを編成するなど徴収強化を図る
- ・その他使用料等についても、滞納金の徴収強化を図る
- ・市が所有する普通財産については処分および有効活用を図る
- ・南芦屋浜地区に、芦屋にふさわしい文化教育関係機関・企業の誘致を検討する
- ・国民健康保険給付率を見直す
- ・粗大ゴミの収集を有料化する
- ・留守家庭児童会事業の有料化を検討する

### 組織・要員等の見直し

- ・公共駐車場の使用料を見直す
- ・その他公共施設の使用料等についても物価変動、コストを参考に改定する
- ・補助金は、原則として平成九年度、平成十年度各一〇%削減する
- ・庁内LAN、人事管理、収納管理、戸籍事務等、行政情報の高度処理化を図る
- ・復興事業に対応した組織の再整備をする
- ・人口千人に対して、普通会計職員数十人を目標に、欠員不補充を原則に職員数を抑制する
- ・特別退職制度を実施する
- ・民間委託を含めゴミ収集体制を見直す
- ・保母職員数の欠員不補充、校務職の配置基準を見直す
- ・民間委託を含め給食業務全体を見直す
- ・目標管理制度を活用した人事評価システムの導入を検討する
- ・職員の給与水準を適正化する
- ・期末勤勉手当の見直し、時間外勤務手当等を縮減する

年次別収支見直し額 (単位:百万円)

項目名(項目数)	8年度	9年度	10年度	合計
事務事業の見直し(80)	12,098	8,376	5,909	26,383
財政の効率的運営(17)	56	345	747	1,148
組織・要員等の見直し(15)	137	231	327	695
合計(112)	12,291	8,952	6,983	28,226

### 実を結んだ復興への意気込み 市長からのメッセージ 10

早いもので、震災から二度目のお盆を迎えます。犠牲となられたかたのご家庭では、悲しみを新たにされ、また、生き残る者として復興への決意を新たにされていることと存じます。

八月四日、芦屋では二年ぶりに花火が上がりました。今年の花火は、南芦屋浜地区から上空三百メートル以上の高さまで上げられたこのことで、市内至る所で見ることが

できました。芦屋サマーカーニバルの花火は、夏の風物詩として定着してまいりましたが、今年はいろんな思いで眺められたことと思います。

芦屋青年会議所やコミスクを中心として約三十団体で構成する芦屋市民まつり協議会でサマーカーニバルを開催していただきました。昨年の秋以来この春まで、「仮設住宅が多い芦屋浜地区でまつりを開催してもいいのかわ」、遺族のかたのことを考えると花火を打ち上げるのは「等々、花火の打ち上げの是非について、何度も協議を重ねられ決定された」と聞いています。震災に負けず、自主復興の意気込みを花火に託そう、花火の費用も皆さんから寄付を募ろうと、協議会では花火の経費である約六百万円の浄財をさまざまな機会を利用して集められました。市民一人ひとりの思いが凝縮し、復興花火となつて結実したのです。

当日は、五万人を超える大勢のかたが会場周辺に参集され、狭い出店通りは身動きもままならないほどの盛況。

多くの催しのあと、小さな子どもさん、若い人たち、お父さん、お母さん、高齢者のかたがたが、心一つにして打ち上げられる千二百発余りの花火の美しさ、華やかさに息をのみ、歓声をあげ、夏の夜を楽しんでおられました。

そして、お一人一人きつと明日から希望をもつて、復興に頑張ろうと心に誓っていただいたことと思っています。

まだまださびしい残暑が続きますが、お体に気をつけて、健やかな毎日をお過ごしください。

芦屋市長 北村 春江





# E・D・U・C・A・T・I・O・N 教の育 ペー ジ

このページの問い合わせは  
学校教育課(☎38-2087)へ

## 自分たちで 創造する学校・園生活



小槌幼稚園 カレー会食

二十一世紀に生きる人間の育成を目指し、学校・園では、幼児児童生徒の主体性を大切にして、個性や創造性を発揮する活動に取り組んでいます。

### カレー会食

六月十九日（水）、小槌幼稚園では、年長児が買い物に行く組と野菜を切る組に分かれて、朝からカレーづくりをしました。買い物に行く途中、つばめも飛んできて、みんなを応援していました。

野菜を切る組は、流しで野菜をきれいに洗ったあと、「うーん、かたい！」と言いつつ、自分の手より大きいにんじんやじゃがいもの皮をむいたり、目をこすりこすりタマネギを切ったりしていました。

今回は「苦手の野菜に挑戦しよう」と、家から思い思いの野菜を一つ持ってきました。大きな鍋に肉と野菜を入れて、「いいにおい！」と匂いをかぎながら、仲良く並んで順番に混ぜていました。

ぐつぐつ煮ること四十分、できあがったカレーを年少児と一緒にちよつと誇らしげに楽しく食べました。自分たちでつくったカレーは、さぞおいしかったことでしょう。

### 七夕まつり

おじいさんやおばあさんをお招きして、宮川幼稚園では、七月六日（土）に七夕まつりを行いました。ホールには、園児たちがつくった大きな天の川が飾られ、「おともだちがいっぱいできるように」「セーラーマーンになりたい」「おねえちゃんになれるように」等のかわいい願いが書かれた短冊やササの葉が揺れて



宮川幼稚園 七夕まつり

いました。

のびのびと表現した海賊体操や歌、後ろ向きに歩く竹馬など、園児たちは、自分で考えた演技をみごとに披露し、おじいさんやおばあさんがたも、孫の成長をたたえるように、温かい拍手を送っておられました。

「宮川幼稚園のおじいさん、おばあさんがたは、とても温かいまなざしでみんなのことを見守ってくださいありがとうございます。園児と手をつないだおばあさんからは、『やわらかい手は、まるでおとうふのようや。きょうは、生きる力をもらった』と、感謝の言葉をいただきました」という園長先生のあいさつに、涙ぐみおばあさんもありました。

その後、園庭に出て、みんなでスイカを食べました。空では織り姫星と彦星が一年ぶりに再会できたことでしょう。



小学生議会

### 小学生議会

児童が芦屋のまちについて日ごろ考えていることや疑問に思っていることを発表する場を設け、市政に対する関心や郷土愛を育てようと、七月十五日（月）、市役所の議場で「小学生議会」が開かれました。

「海浜プールはいつできるのですか」「沖地区の小学生は、どこの小学校へ通うのですか」等という児童にとって身近なことや「市長さんは、家事を一月に何回くらいしますか」というほほえましいこと、また、最近問題になっている食中毒に関係して、「学校給食では、どのように衛生に気をつけていますか」等、さまざまな角度から質問が出されました。

緊張しながらも堂々と質問する小学生議員の立派な態度に声援を送るように、市長はじめ、各部長の分かりやすく、ていねいな答弁が続きました。

日ごろは議員席の議員の皆さんもこの日は傍聴席で、

いつもの議会風景とオーバーラップさせながら、議員の態度に感心する様子。

森教育委員長は閉会のあいさつで、「皆さんが立候補すれば、今すぐにも当選するでしょう。これからは芦屋のまちのことを考えていってほしい」と締めくくり、児童たちは、「みなさんのおかげで、こんな素晴らしい機会を与えていただき、ありがとうございます」と十分に満足した表情を残して議場を後にしました。

### 生徒総会

「この学校がもっとこうだったらいいのに」「この人なら学校を居心地よくしてくれそうだ」という思いで、生徒たちが一票を投じ、新生徒会執行部が誕生した市立芦屋高等学校では、七月十六日（火）、生徒総会が開かれました。

役員紹介のあと、新会長の田中麻美子さんは、「とにかく、楽しい学校にしていきたいです。一年生から三年生までみんなが楽しめる行事を増やして学年間の交流を深めたいです。学校に来るのがイヤと思う人が

少しでもいなくなればと思います。私のやり方に反対している人もたくさんいると思いますが、自分自身に何が欠けているかをこれから考えながら活動していきま

すので、応援してください」とあいさつしました。

昨年までは信任投票で選ばれた会長ですが、今年度は、対立候補を破って当選した会長です。自信とともに客観的に自分をみつめ、他の人の意見も取り入れながら、魅力ある市立芦屋高等学校を造っていくとする気迫があふれていました。

予算審議では、予算書を真剣に見入る姿など、さすがに高校生の頼もしさが感じられました。今年、大変健闘した硬式野球部に最も多くの予算がつけられましたが、生徒会費の値上げについては、「今後、執行部で慎重に取り組んでいきたい」と締めくくり、なごやかなうちにも実りある生徒総会の幕を閉じました。



市立芦屋高等学校 生徒総会

## 自由研究・教育活動展

### 自由研究発表大会を開催します

教育委員会では、子どもの興味や関心を大切に、個性や特性を生かす教育を進めるために、体験に基づいた自由研究を大切にしています。

そのため、今年度も「芦屋市立学校自由研究発表大会」や「自由研究・教育活動展」を開催し、夏休みに行った自由研究の発表や作製した工作等を展示します。

### 「自由研究・教育活動展」

日時 9月13日（金）～17日（火）  
午前10時～午後4時30分  
（最終日は午後1時まで）  
会場 ラ・モール芦屋1階ロビー（アトリウム）

### 「芦屋市立学校自由研究発表大会」

日時 9月21日（土）  
午後1時30分～4時30分  
会場 市民センター  
301・302室

